

「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)～地域のやさしさが、あなたに健やかな出産・育児を届けます～」の概要

<基本理念> 子どもを産み、育てる人にいつも寄り添い、すべての子どもが健やかに育つ三重

<取組の推進体制>

「**出産・育児まるっとサポートみえ**」(三重県版ネウボラ)により取組を推進

県内のどの地域においても妊産婦やその家族が必要な時に必要なサービスを受けることができる新たな三重県の出産・育児支援体制

<取組の推進に向けた4つの視点>

- ①継続的な支援：妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない母子保健サービスを提供する
- ②ワンストップの支援：関係機関のネットワークにより情報が市町の相談窓口に集約され、速やかにサービスをコーディネートできる
- ③予防的支援：ポピュレーションアプローチの観点から、すべての妊産婦等の状況を早期に把握し、必要な支援につなげる
- ④家族支援：母子だけでなく、父親や祖父母等の家族に対しても必要なサービスを提供する

	重点課題	現状等	主な取組内容	5年後にめざす姿	10年後にめざす姿
重点課題1	切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策	<ul style="list-style-type: none"> ○妊産婦やその家族が必要な時に必要なサービスが受けられることが重要 ○産後の一定の時期におけるサービスが不十分 ○関係機関の間での連携が不十分 ○特定不妊治療等を受けた夫婦に対する経済的・精神的支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町において母子保健事業の実施の中心的な役割を果たす人材の育成 ○産後ケアの取組の推進 ○市町の母子保健体制の構築等に向けた情報提供・助言 ○不妊相談・不妊治療支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と医療機関等の中で妊産婦等の情報が共有され、円滑に必要なサービスが受けられる ○市町において地域の母子保健の状況の把握・分析を行い、切れ目なく必要な母子保健サービスが提供されている 	<p>妊娠・出産・育児に至るまでの間、切れ目なく必要な母子保健サービスが提供され、妊産婦やその家族が安心して子どもを産み育てることができる</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児死亡率 ・幼児死亡率 ・むし歯のない3歳児の割合
重点課題2	学童期・思春期から成人期に向けた保健対策	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期は、子どもの心身の健康に関わる問題行動が起こりやすい時期 ○インターネットやSNS等の普及による子どもを取り巻く環境の変化 ○家庭・学校・地域等が連携した取組が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関の連携による健康教育・性教育を行う体制の充実 ○行政による思春期保健対策の取組の推進 ○学童期・思春期・成人期におけるライフプラン教育の実施 ○「妊娠レスキューダイヤル」の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・学校・医療機関等が連携して健康教育・性教育が行われるなど、地域社会全体で取組が行われている ○妊娠・出産に関する医学的知識や家族の大切さを学ぶライフプラン教育の取組が進んでいる 	<p>子どもたちが心身の健康の大切さを理解し、主体的に健康管理を行うとともに、自らの人生や家族の大切さについて考え、行動することができる</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・十代の人工妊娠中絶率 ・中学3年生の女生徒で体重が標準の-20%以下の割合 ・十代の性感染症報告数
重点課題3	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○少子化・核家族化の進行や地域社会でのつながりの希薄化などにより育児の負担感や不安感を解消できない親が増加 ○地域社会全体で育児中の家庭を見守り、孤立化させないことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町において地域社会のネットワークを構築する人材の育成及び助言等 ○乳幼児の事故予防対策の推進 ○地域社会全体で育児中の家庭を見守り、支える風土の醸成と環境整備 ○医師会、看護協会、大学、企業、NPO等の関係団体の連携の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町等の関係機関による育児中の家庭の孤立化を防ぐための取組が進んでいる ○市町等の関係機関だけでなく、企業や自治会・ボランティア等も含めた地域社会全体で育児中の家庭を見守り支える取組が進んでいる 	<p>育児中の家庭が孤立することなく、地域社会の見守りの中で、心身ともに過度の負担や不安を感じることなく育児ができ、子どもが健やかに成長している</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる地域で子育てをしたいと思う親の割合 ・乳幼児の不慮の事故死亡率
重点課題4	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	<ul style="list-style-type: none"> ○医療的ケアが必要な子どもや発達障がい児等をもつ親への支援体制の強化が必要 ○発達障がいに対する認識及び支援ニーズが高まり、発達支援が必要な子どもに対する適切な支援体制づくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町に対する乳幼児健診の充実に向けた働きかけ ○医療的ケアが必要な子どもの在宅での療育・療養に対する支援 ○「三重県こども心身発達医療センター(仮称)」の整備 ○市町の発達支援総合窓口の設置や人材育成への支援 ○発達障がい児に対する支援ツール「CLMと個別の指導計画」の導入促進及び家族支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○育てにくさを感じている親を早期に発見し、必要な支援につなげる体制が整備されている ○医療的ケアや発達支援が必要な子どもに対する支援体制が整備されている 	<p>育児中の家族が、育児に対して行き詰まりや不安を感じた時に、気軽に相談することができる場があり、心身ともにゆとりを持って育児ができる</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の育児について相談相手のいる親の割合
重点課題5	妊娠期からの児童虐待防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ○児童相談所における児童虐待相談対応件数の増加 ○母子保健の取組に対して児童虐待の未然防止や早期発見・対応につなげる役割を期待 ○保健・医療・福祉等の関係機関の連携強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠届出時アンケートの統一による特定妊婦の早期把握・支援 ○すべての市町での養育支援訪問の実施に向けた働きかけ ○警察、市町等との情報共有や意見交換 ○児童相談所職員や市町指導相談担当職員の対応力向上のための研修の実施 ○児童虐待防止に関する啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定妊婦や要支援家庭等のハイリスクケースを早期に把握し、児童虐待の未然防止や早期発見・対応につなげている ○保健・医療・福祉など関係機関の間で情報共有等が行われるなど、分野を超えた連携が進んでいる 	<p>行政や医療機関などの関係機関だけでなく、地域の住民等も含めた地域社会全体で児童虐待を防止するための取組が行われている</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待による死亡件数